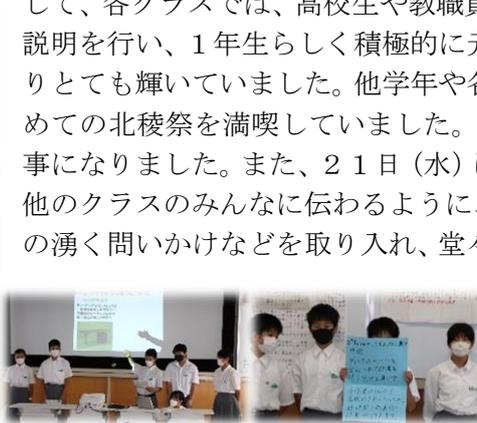


北稜祭から学んだこととは…!

心待ちにしていた北稜祭が実施でき生徒のみんなは生き生きとした様子で参加しました。また、多くの保護者の皆さまにはご来校いただき感謝の気持ちでいっぱいです。夏休みからクラス展示の準備を計画的に進め、地域から学んだことを多くの方に伝えることができました。当日は、迫力ある高校生の文化部の発表に心を奪われた瞬間でした。そして、各クラスでは、高校生や教職員、保護者の方々へ丁寧に展示の説明を行い、1年生らしく積極的に元気の良い挨拶をして、一人ひとりとても輝いていました。他学年や各種委員会の展示にも参加し、初めての北稜祭を満喫していました。1年生にとって思い出に残る行事になりました。また、21日(水)に行った学年団での発表会では、他のクラスのみんなに伝わるように、ジェスチャーやプレゼン、興味の湧く問いかけなどを取り入れ、堂々とした態度で臨みました。さすが1年生です。今回の経験を通して、「伝える力」「先を見通す力」が身についたと確信しました。今後の活動がますます楽しみです。



そして、各クラスでは、高校生や教職員、保護者の方々へ丁寧に展示の説明を行い、1年生らしく積極的に元気の良い挨拶をして、一人ひとりとても輝いていました。他学年や各種委員会の展示にも参加し、初めての北稜祭を満喫していました。1年生にとって思い出に残る行事になりました。また、21日(水)に行った学年団での発表会では、他のクラスのみんなに伝わるように、ジェスチャーやプレゼン、興味の湧く問いかけなどを取り入れ、堂々とした態度で臨みました。さすが1年生です。今回の経験を通して、「伝える力」「先を見通す力」が身についたと確信しました。今後の活動がますます楽しみです。



普段使っているその「言葉」どう?

日頃、学級担任は休み時間や放課後の時間などに、クラスのみならずと過ごし、ちょっとした変化や表情を察知し子どもの声に耳を傾けています。また、友人どうしの会話も数多く聞く機会があります。その中で、多少言葉遣いが気になる面があり、学年団で相談しました。温かい言葉、トゲのある言葉、生活している環境の中で言葉は、人を幸せにしたり、辛い思いにさせたりと大きな影響力をもっています。そこで、私たち1年団は、「その言葉どうなん?」という学習課題を掲げ、感情(気持ち)と言葉には密接な関係があることを知り、普段何気なく発している「自分の言葉」について向き合う時間を設けました。授業を行う中で、「普通に



使っていた!」「これって相手が嫌な気持ちになるよな!」など自分の普段の言動を見つめている様子うかがえました。子どもたちの心に響いたのではないのでしょうか。授業を終えての生徒の感想を何点か掲載します。



2学期中間テスト実施!

中間テストがスタートしました。放課後の飛翔学習週間では、疑問点を積極的に質問したり、ワークをQ&A形式で何度も繰り返し行ったりして理解を深めていました。学習はチームで行うものだと思います。こつこつと取り組む姿勢が周囲に広がっていると感じました。

<お知らせ>

- 10月1日(土)は北中の授業公開日です。1年生は2校時(9:35~10:25)のみとなり、3校時は非公開となります。なお、3日(月)は振替休業日です。
- 10月24日(月)に生徒会役員選挙が実施されます。1年生も立候補でき学校や学年の代表が決まります。学校行事の企画や運営で力を発揮してほしいと思います。

＜授業での生徒の感想＞

- 話しているときに軽い気持ちで言ってしまったことがあります。また、そういう言葉が聞こえたときには、注意できるようにしたいです。
- この授業で、無意識のうちに使っている言葉がたくさんあります。気持ちをコントロールさせることも大切だと分かりました。
- 「言葉」は生活していく中で重要なものです。ときに、言葉は刃物になり、相手の心を深く傷つけてしまう。逆に、相手の心を和ませる言葉もたくさんあり、これから大切にしたいです。